

2. 東北（地域別調査機関：公益財団法人東北活性化研究センター）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (東北)	◎	テーマパーク（職員）	・当施設はおおむね屋内で天候に左右されないため、夏休みには子供や孫を連れたファミリー層が多く訪れることが見込まれる。
	○	商店街（代表者）	・夏祭りやお盆休みがあるため、人出が見込まれる。
	○	一般小売店〔酒〕（経営者）	・夏祭りやお盆があるため、販売量は増加するとみている。
	○	一般小売店〔医薬品〕（経営者）	・暑い日が続くといろいろな症状が出てくる人が多くなり、来客数は増加する。セールも予定しているため、今よりも良くなるとみている。
	○	コンビニ（エリア担当）	・キャンペーン等も実施しているため、売上、来客数は増加が見込まれる。ただし、キャンペーンによる上乗せ分のみで、景気回復とまではいかないとみている。
	○	コンビニ（エリア担当）	・気温上昇により、来客数は更に増えるかとみている。
	○	家電量販店（従業員）	・7月中旬以降に気温が高くなりエアコンが拡大販売されると、取付工事が一時期に集中する可能性がある。前倒しで販売できれば工事が集中することもないため、早めに暑くなることを期待したい。
	○	乗用車販売店（従業員）	・現在はオーダーをストップしている車種が多すぎて出せる車が少ない。今後は徐々に再開するため、少しずつ良くなっていくとみている。
	○	乗用車販売店（従業員）	・決算時期を迎える。
	○	一般レストラン（経営者）	・暑くなり、人が外出する機会が多くなる。
	○	観光型ホテル（スタッフ）	・7月後半から始まる夏休みに期待している。
	○	都市型ホテル（支配人）	・夏シーズンのレジャー客やインバウンドの先行予約が好調である。
	○	都市型ホテル（スタッフ）	・夏祭りやイベントが多くなるため、やや良くなるとみている。
	○	旅行代理店（従業員）	・当社契約宿泊施設のこの先3か月の先行販売額は、今月までの販売額と比較して5%程度良い。
	○	旅行代理店（従業員）	・インバウンドが多いため期待が持てる。
	○	観光名所（職員）	・例年だと今の時期に2～3か月先の予約が埋まることはないが、今年は既に予約が多くなっている。
	○	美容室（経営者）	・参議院選挙の公約で各党が景気対策を打ち出しているため、僅かでもその効果が出るとみている。
	○	美容室（経営者）	・客からは、米が買えるようになったことや電気料金の値下げを喜ぶ声を聞く。節約志向が弱まることを期待したい。理美容業においては、暑くなると来店頻度が高まり、涼しいヘッドスパなどを注文する客も増えるため、来客数や客単価がアップするとみている。
	□	商店街（代表者）	・祭りやイベントが予定されているため人出が見込まれる。しかし、景気回復が遅れているため、消費低迷が続くとみている。
	□	一般小売店〔酒〕（経営者）	・お中元の時期になり売上は良くなるが、景気の先行きが不透明で、良くなる要素も見つからない。また、米の価格上昇により、米を原料とする日本酒も値上げが相次いでいる。今後の酒造りにも大きな影響が出るとみている。
□	一般小売店〔寝具〕（経営者）	・物価が落ち着かない限り変わらない。	
□	百貨店（企画担当）	・来客数は街でイベントがあるときは増えるが、買上客数、客単価はいずれもマイナス傾向にある。特に衣料品の動きが鈍い。	
□	百貨店（経営者）	・客の高齢化や食料品価格の上昇に加え、円高傾向が間接的に影響し、売上の減少はしばらく続くとみている。	
□	百貨店（催事担当）	・足元の消費は依然として停滞感があり、大きく伸びる要素が見当たらない。	

<input type="checkbox"/>	百貨店（従業員）	・物価高の改善は見込めないため、消費者の節約志向や生活防衛意識が高い状況は続く。よって、購買行動も変わらず、売上や販売点数も低位で推移するとみている。
<input type="checkbox"/>	スーパー（経営者）	・ボーナス支給期だが、経費増加の負担は重く、業績給的側面が強い小売では手取り賃金の伸びは期待できない。お中元ギフト需要も年々低下している。公共事業の執行や6月後半の株価上昇により、一部の消費に良い影響は期待されるが、全体として消費の傾向は変わらないとみている。
<input type="checkbox"/>	スーパー（店長）	・このまま気温上昇が続けば、購買意欲が増して、季節商材で売上を維持していけるとみている。
<input type="checkbox"/>	スーパー（店長）	・エネルギー価格を始め物価の上昇が収まらず、客が無駄遣いを避ける傾向にある。景気は良くて現状維持である。
<input type="checkbox"/>	スーパー（店長）	・単価が上がる要素が少ない。
<input type="checkbox"/>	スーパー（企画担当）	・商品価格が上がっても買上点数が減少すれば売上は上がらない。むしろ、特売構成比が上がり利益が減少することを懸念している。
<input type="checkbox"/>	スーパー（商品担当）	・9月末に出荷される新米の相場が食品消費の動向に影響するとみている。消費支出の動向には不透明感があり、景気が上向くか下向くかは判断が付かない。
<input type="checkbox"/>	スーパー（業務担当）	・身の回りの景気が急激に良くなる状況にはない。
<input type="checkbox"/>	スーパー（店舗運営）	・競合環境が大きく変わることはないとみている。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（経営者）	・来客数は増加傾向にあるが、ここに来て買上点数が横ばいになっている。商品の値上げにより客単価は上昇しているが、来月も値上げ予定の商品が多数あるため、上昇の勢いは鈍化するとみている。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（経営者）	・気温が高くなり、晴れの日が多くなれば売上は良くなるが、雨が降れば落ちる。天候次第である。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（経営者）	・これから気温が上がってくるため、良くなることを期待している。天候次第である。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（経営者）	・今月は本部施策の効果により売上が増加しているが、今後も続くかは分からない。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（経営者）	・夏なので売上は上がるが、利益に結び付くかは微妙である。人手不足のなかで提供するサービスが増え続け、人的負担と経営的負担が増している。本部は売上が1番なのは分かるが、このままだと本当に経営ができなくなる。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（経営者）	・来客数が増加しないため、景気は変わらない。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（エリア担当）	・気温や立地による売上の上下はあるが、外的環境は変わらないとみている。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（店長）	・良くなる兆しが全くない。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（経営者）	・お中元商戦では、ダイレクトメールの配布や訪問による受注獲得に期待している。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（店長）	・物価上昇に連動してボーナス支給や賃上げなどの動きが出てくることに期待したいが、現状では大きく変わらないとみている。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（店長）	・天候の影響が大きいので、猛暑が続けば半袖シャツの需要で売上が増加する可能性は高い。しかし、景気は決して良くない。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（総務担当）	・夏のボーナスが支給されているが、客の購買にはつながっていない。物価高対策が具体的に示されないまま、消費の低迷は続くともみている。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（従業員）	・新車の生産台数が不安定で発注に制限が掛かっているため、需要のある車種を特定して多く仕入れることができない。納期の問題で年内に入庫予定がない車種もあり、厳しい状況はしばらく続くともみている。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（従業員）	・登録されなければ売上にならない。納期が極端に早まらない限りは変わらない。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（店長）	・新車、中古車共に販売はある程度回復している。しかし、客はそれ以外の費用を最小限に抑えている。その傾向はしばらく続くともみている。
<input type="checkbox"/>	住関連専門店（インテリアコーディネーター）	・天候不順や物価高、ガソリン価格の上昇など不安要素がある。国内外いずれをみても景気が良くなる材料が見当たらない。
<input type="checkbox"/>	その他専門店〔靴〕（経営者）	・物価上昇も続いており、景気が良くなる要素が見当たらない。

□	その他専門店 [ガソリンスタンド] (営業担当)	・梅雨だが暑い日が多く、例年の同じ時期と比べ配達灯油の販売が落ち込んでいる。梅雨が明ければ更に減少するとみている。
□	その他小売 [ショッピングセンター] (統括)	・賃上げの影響はみられない。食品などの物価上昇により消費者の節約志向が強まっている。国際情勢等からもこれらが続くともみている。米は取扱店舗が少ないため、影響は限定的である。インバウンド関連では、7月から台湾・高雄との直行便が新規就航するため来客数の更なる増加が期待できる。ただし、免税売上は現状1割未満のため、今後は対応力を強化していく。
□	高級レストラン (支配人)	・特定の層に特化している店舗のため一般化していない。対象を広げることも経営判断の1つの選択肢である。
□	一般レストラン (経営者)	・節約しながら生活し、買物にも慎重になっているという話を周りの人たちからよく聞く。物価高も続いており、消費者の財布のひもが固い状況は変わらない。
□	観光型ホテル (スタッフ)	・特に変わる要因がない。
□	観光型旅館 (スタッフ)	・夏休み期間に入るため今月より良くなる。しかし、更に伸びる要素はないため、例年と変わらない見込みである。
□	旅行代理店 (従業員)	・猛暑の予報が出てきたため、先行受注状況や予約に関する問合せ等に余り動きがない。今後も余り変わらないとみている。
□	タクシー運転手	・夏休み期間に入ると、旅行や観光で当地を訪れる人の利用増加が見込まれる。
□	タクシー運転手	・2～3か月後は夏休み期間中であり、夏祭りやコンサートなどが多数開催され、帰省客も多くなることから、利用者数の増加が予想される。
□	通信会社 (経営者)	・今後は地域の夏祭りなどビッグコンテンツの放送が続くが、ネット配信でも視聴が可能であるため、放送サービスの加入者数増加は余り期待できない。一方、インターネットサービスは夏休みに向けて学生を中心に利用が増えるため、加入者数の増加が期待できる。
□	通信会社 (営業担当)	・好転する材料に乏しい。
□	通信会社 (営業担当)	・当面、物価高は続くとみている。
□	通信会社 (社会貢献担当)	・来客数はこのまま増加傾向を維持するとみている。
□	観光名所 (職員)	・予約数等は前年を下回る状況が続いているものの、客単価はここ数か月、伸びが続いている。どちらに振れるかの判断が難しい。
□	遊園地 (経営者)	・物価上昇が続いていることに加え、国際情勢や原油動向も見通しが立たない。好転する要素が少ない。
□	競艇場 (職員)	・来月以降も現在の売上を維持できるとみている。
□	その他サービス [寮管理] (管理人)	・異常気象による農水産物の供給不安もある。景気は変わらない。
□	住宅販売会社 (経営者)	・木造住宅の受注が低迷するなか、賃貸用鉄筋コンクリート造のマンションの受注は好調に推移するとみている。
□	その他住宅 [リフォーム] (従業員)	・住宅設備機器は、エアコン交換の問合せが増えるともみている。リフォームは、補助金制度を活用する工事の問合せが増えるともみている。
▲	商店街 (代表者)	・商店街に残るのは飲食店くらいであり、地元で買物すらできない。
▲	商店街 (代表者)	・インバウンドの消費低迷が続いている。
▲	一般小売店 [医薬品] (経営者)	・2～3か月先には選挙が実施される。毎回のことだが、選挙があると街の景気は悪くなる。
▲	一般小売店 [茶] (経営者)	・円安や物価高が続くなか、賃金は上がらず、売上や利益も増える兆しがみえない。地方では、インバウンドの増加により観光地はにぎわっているが、局所的である。それ以外の地域では景気が良くなる材料がない。
▲	一般小売店 [スポーツ用品] (店員)	・暑さが本格的になるため、例年7～8月は来客数が減少する。また、ゴルフクラブやボールなどの商品が値上がりするため、販売に影響があるとみている。
▲	一般小売店 [書籍] (営業担当)	・物価高に対する対応が後手に回っていることに加え、参議院選挙の結果次第では政権がより不安定になる。
▲	コンビニ (経営者)	・人口の減少や1品単価の微増が改善する見込みはないため変わらない。

	▲	衣料品専門店（経営者）	・残暑が続いても夏物は売れない。秋物もまだ本格的に動き出す時期ではない。
	▲	衣料品専門店（経営者）	・クリアランスセールがスタートするが、節約ムードの高まりにより購買客数の増加は期待できない。
	▲	衣料品専門店（店長）	・スーツ離れがどこまで進むかが見通せず、不安である。
	▲	家電量販店（従業員）	・米国の関税政策や国際情勢の影響でガソリン価格が高くなり、景気が悪くなることを懸念している。
	▲	乗用車販売店（従業員）	・3～4か月前と比べて新車の販売は落ち込んでいるが、中古車が良くなっていることから、景気はやや悪くなるとみている。
	▲	住関連専門店（経営者）	・特別注文家具を製作しており、2～3か月先の販売量は決まっているが、これ以上増える見込みがないため、今月より悪くなる。
	▲	その他専門店〔酒〕（経営者）	・一般消費者は物価高に慣れてしまっており、販売店としては厳しい状況が続く見通しである。
	▲	その他専門店〔ガソリンスタンド〕（営業担当）	・中東情勢の悪化により原油価格が乱高下しており、今後の見通しが立たない。
	▲	一般レストラン（経営者）	・8月はお盆もあり休みが多くなるため、やや悪くなるとみている。
	▲	観光型旅館（経営者）	・米騒動や物価高などが落ち着くまでは、支出の引締めは続くとみている。
	▲	旅行代理店（従業員）	・好況企業や富裕層の動きはあるものの、先行きは不透明である。
	▲	美容室（経営者）	・高齢の客が多く、施設への入居等により来店できなくなる客が出てきている。
	▲	その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	・初夏から8月後半までの需要期に、どれくらい売上が増えるかが鍵を握るが、厳しいと予想をしている。
	▲	設計事務所（経営者）	・物価は高騰しているが、低価格での受注が多くみられる。
	▲	その他住宅〔住宅展示場運営会社〕（従業員）	・生活必需品の値上げや資材価格の高騰が影響している。景気は悪くなるとみている。
	×	商店街（代表者）	・来客数と予約数はかなり少ない。周りには低単価の飲食店ばかりが増えている。客単価の高い店はかなり厳しい状況である。
	×	一般小売店〔医薬品〕（経営者）	・中東情勢の悪化により世界的な原油供給リスクが生じている。原油価格が上がれば、更なる物価上昇も予想される。
	×	スーパー（経営者）	・参議院選挙があるため、各党の選挙活動によって景気の先行きに対する不安が増せば、節約志向はより高まる。
	×	その他専門店〔白衣・ユニフォーム〕（経営者）	・夏に向けての需要が読めない。マーケット自体が冷え込んでいることに加え、ネットで購入することが当たり前になってきているため、価格競争も激化している。そのようななかでどのように売上を作るか。厳しい状況が続くとみている。
	×	一般レストラン（経営者）	・政治が安定して税金など金の流れが明確になり、使える金が増えるか、減税により手元に残る金が増えるかしない限り、物価高の影響で思い切った消費活動はできない。
企業 動向 関連 (東北)	◎	農林水産業（従業者）	・当県では桃の生育も堅調である。他県ではひょう害などの報告もあり、当県産の農産物への期待が高まっている。
	○	一般機械器具製造業（経営者）	・引き合いが少しずつ増えているため、2～3か月先は少し良くなると期待している。
	○	一般機械器具製造業（経営者）	・省力化を図るための設備案件の引き合いが増えてきている。
	○	金融業（広報担当）	・夏祭り期間を迎えるため、観光・宿泊産業を中心にインバウンド需要の取り込みが期待できる。ただし、1次産業では気候変動を要因とする海産物の不漁や病害虫の異常発生が懸念材料である。
	○	その他非製造業〔飲食品卸売業〕（経営者）	・秋の行楽シーズンの訪れとともに、県内でも観光客の増加が期待できる。
	□	食料品製造業（製造担当）	・インバウンドや旅行者により高額品の売行きは好調である。しかし、物価高の影響もあり、地元客や若い層の購買単価は今後も上がらないとみている。
	□	出版・印刷・同関連産業（経営者）	・良くなる要素が見当たらない。

	<input type="checkbox"/>	出版・印刷・同関連産業（経営者）	・地方経済においては何も変わらない。
	<input type="checkbox"/>	電気機械器具製造業（総務担当）	・売上につながりそうな商談は依然少ない。
	<input type="checkbox"/>	建設業（従業員）	・年内は相応の工事量を見込んでいるが、人手不足が課題である。人材確保に力を入れていく。
	<input type="checkbox"/>	建設業（従業員）	・まとまった案件の受注見通しが立っていない。
	<input type="checkbox"/>	建設業（従業員）	・人員が限られ、受注量を増やすことができないため、景気は変わらない。
	<input type="checkbox"/>	建設業（従業員）	・受注量からみても、高い水準で景気が良い状況は変わらない。
	<input type="checkbox"/>	輸送業（経営者）	・食料品を除き、取扱貨物の荷動きの鈍化が続いている。特にトラック輸送においては、関東方面からの県内向け貨物で荷動きが悪い状況である。その要因は原材料価格の高止まりや物価高などが考えられ、今後2～3か月での改善は見込めない。
	<input type="checkbox"/>	通信業（営業担当）	・顧客に対し、価格の根拠を理解してもらう努力を続けていく。
	<input type="checkbox"/>	通信業（営業担当）	・物価高騰が続くなか、機器代金のみならずサービス料金も値上げせざるを得ない状況のため、客の買い控えが更に加速するとみている。
	<input type="checkbox"/>	通信業（営業担当）	・国の補助などの実施予定がないため変わらない。
	<input type="checkbox"/>	広告業協会（役員）	・物価上昇は止まらず、個人消費の抑制傾向は続くことが予想される。景気が良くなる兆しが全くみえないことから、広告業界は低迷の状態がしばらく続くとみている。
	<input type="checkbox"/>	広告代理店（経営者）	・先行きが見通しづらい環境ではあるが、取引先の広告投資が大きく減少する兆しもないため、横ばいが続くとみている。
	<input type="checkbox"/>	コピーサービス業（従業員）	・政治や経済の先行きが不透明である。
	<input type="checkbox"/>	その他企業 [企画業]（経営者）	・観光需要を旺盛にするための良い策が見当たらない。しばらくは既存施設の活用や催しによる集客を考えなければならない。
	<input type="checkbox"/>	その他企業 [協同組合]（職員）	・依然として良くなる材料は見つからない。米国の関税政策などで閉塞感がある。
	<input checked="" type="checkbox"/>	農林水産業（従業者）	・今年の夏も猛暑となる見込みであり、米の生育や品質が懸念される。
	<input checked="" type="checkbox"/>	食料品製造業（経営者）	・物価高の影響で、消費者は価格にシビアになっている。
	<input checked="" type="checkbox"/>	食料品製造業（営業担当）	・原材料等の高騰に伴い、3か月後に値上げを予定しているため、販売量の更なる落ち込みが見込まれる。
	<input checked="" type="checkbox"/>	金属製品製造業（経営者）	・受注予測が若干下向いている。
	<input checked="" type="checkbox"/>	輸送用機械器具製造業（経営者）	・この先2～3か月は変わらない。復調するにしても秋以降である。
	<input checked="" type="checkbox"/>	経営コンサルタント	・参議院選挙後の与野党の票獲得の行方次第では、大きな変化があるかもしれない。
	<input checked="" type="checkbox"/>	司法書士	・地元法務局の登記受付件数が前年同月比で4%程度減少している。実感としても、売買による所有権移転登記は減少している。
	<input checked="" type="checkbox"/>	公認会計士	・小売業、サービス業は好調を維持している顧客が多い。製造業は売上が回復しない企業が多い。建設業は先の見通しが立たない顧客が多い。全体としてはやや悪くなるとみている。
	<input type="checkbox"/>	窯業・土石製品製造業（職員）	・公共事業、民間事業共に受注量が減少しているため、厳しい状況が続くとみている。
雇用 関連 (東北)	<input checked="" type="checkbox"/>	—	—
	<input type="checkbox"/>	アウトソーシング企業（経営者）	・自治体は価格の上昇に理解がある。その状況が続くならば景気は良くなるとみている。
	<input type="checkbox"/>	職業安定所（職員）	・建設業、製造業は求人数の減少が底を打ったとみられる。全体の求人数も緩やかに増加に転じることが見込まれる。
	<input type="checkbox"/>	人材派遣会社（経営者）	・人を採用できず、新規出店や事業拡大ができないという話を非常に多く聞く。クリニックや建材の商社、飲食店、小売業など多岐にわたる。このような状況は変わらないとみている。

<input type="checkbox"/>	人材派遣会社（社員）	・既に大卒の採用計画が固まっているため市況が大きく変わることはないが、求職者側が活発に動けば良化することも考えられる。一方で、既に2025年新卒入社の退職者の登録が出てきている。その欠員補充の動きとして、第2新卒層の求人数が増加すれば、当社の景気は良くなる可能性がある。
<input type="checkbox"/>	人材派遣会社（社員）	・米国の動向や中東情勢などの先行きが不透明である。その状況下で、企業の設備投資や人材採用は鈍化している。しばらくの間、景気は一進一退が続くとみている。
<input type="checkbox"/>	人材派遣会社（社員）	・好転する要素がない。同業他社も同様の傾向にある。退職者の後任募集を停止する企業も徐々に増えつつある。
<input type="checkbox"/>	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・広告に少しずつ動きが出てきているものの、物価高は続いており、景気が回復している実感はない。
<input type="checkbox"/>	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・資材価格を始めとした物価高騰により、企業は疲弊している。
<input type="checkbox"/>	職業安定所（職員）	・新規求人数、有効求人数共に前年同月比で増加しているが、米国の関税政策の影響を考慮する必要がある。
<input type="checkbox"/>	職業安定所（職員）	・米国の関税政策について、多くの事業所では現時点で目立った影響はみられないが、一部で生産や採用計画に影響が出ているという声もある。全体としては求人、求職に大きな変動はないとみている。
<input type="checkbox"/>	学校〔専門学校〕	・急激に変わることはないとみている。
<input type="checkbox"/>	その他雇用の動向を把握できる者	・人手不足の業種では求人数はあるものの、物価高による買い控えの影響から、卸売業、小売業の求人数が減少している。物価高が続く限り、この状況は変わらないとみている。
<input checked="" type="checkbox"/>	*	*
<input type="checkbox"/>	*	*